

サンプルアプリを利用しよう！



QuickCreator にはアプリのサンプルはあるかな？
サンプルがあれば、すぐに業務で使えるよね。



さまざまな業務でご利用いただける**サンプルアプリ**がたくさんあります！
QuickCreatorで簡単に取り込み、すぐに利用することができます。

業務改善の ミカタ

QuickCreatorでサンプルアプリを取り込むには、次の2つの方法があります。

フォルダを指定	SMILEサポートページの「QuickCreatorサンプルパラメータのダウンロード」からダウンロードしたアプリを取り込みます。
一覧から選択	サンプルアプリの一覧から利用したいアプリを指定して取り込みます。

＊ ここでは、「一覧から選択」を利用した取り込みの方法をご紹介します。

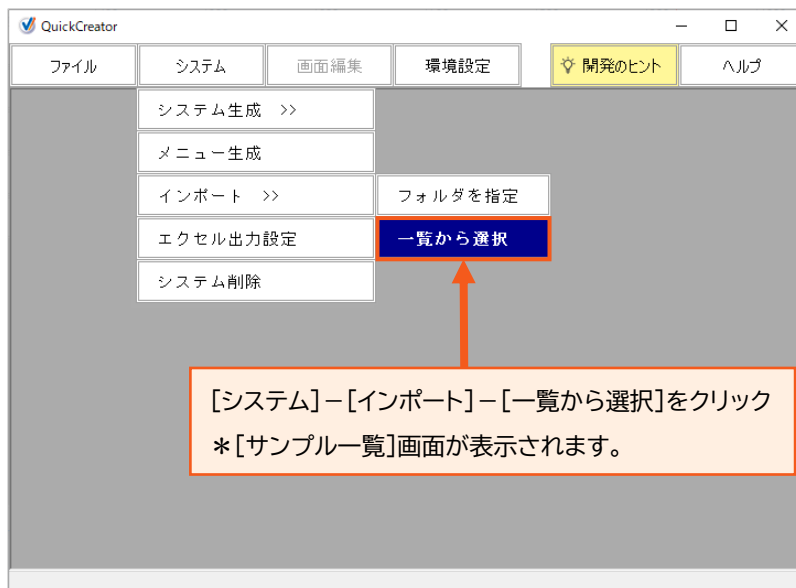


—— 実際に取り込んでみよう！ ——

STEP 1

[サンプル一覧]画面の起動:[QuickCreator]メニュー

＊今回は、[一覧から選択]にあるサンプルアプリ [ヒューマン]の取込み作業を例としてご説明します。

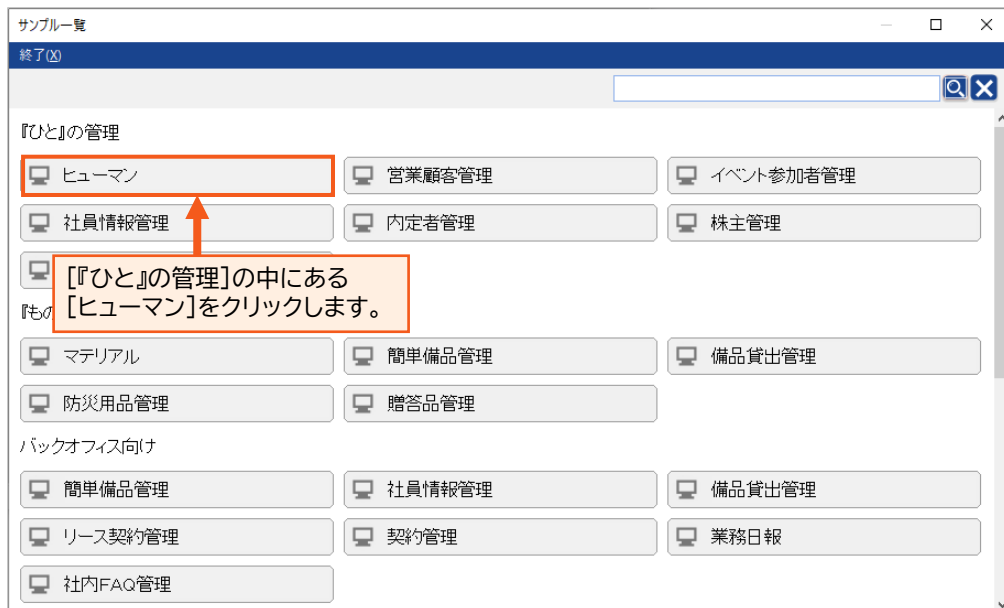


[システム]－[インポート]－[一覧から選択]をクリック
＊[サンプル一覧]画面が表示されます。

STEP 2

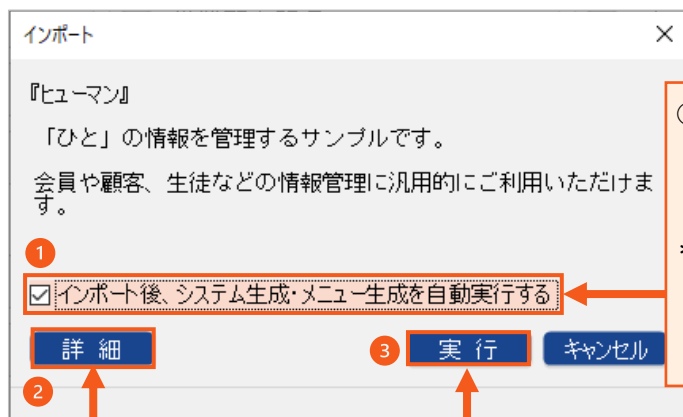
サンプルアプリの選択:[サンプル一覧]画面

* 利用可能なサンプルアプリの一覧が表示されます。



STEP 3

取り込み実行:[インポート]画面



①「インポート後、システム生成・メニュー生成を自動実行する」をチェック

*このチェックは、QuickCreatorメニューの [環境設定]-[環境設定]画面において、「システム生成時にパターンNo.を指定する」がチェックされていない場合に入力できます。

②「詳細」をクリック

*インポートするサンプルアプリの紹介資料が表示されます。

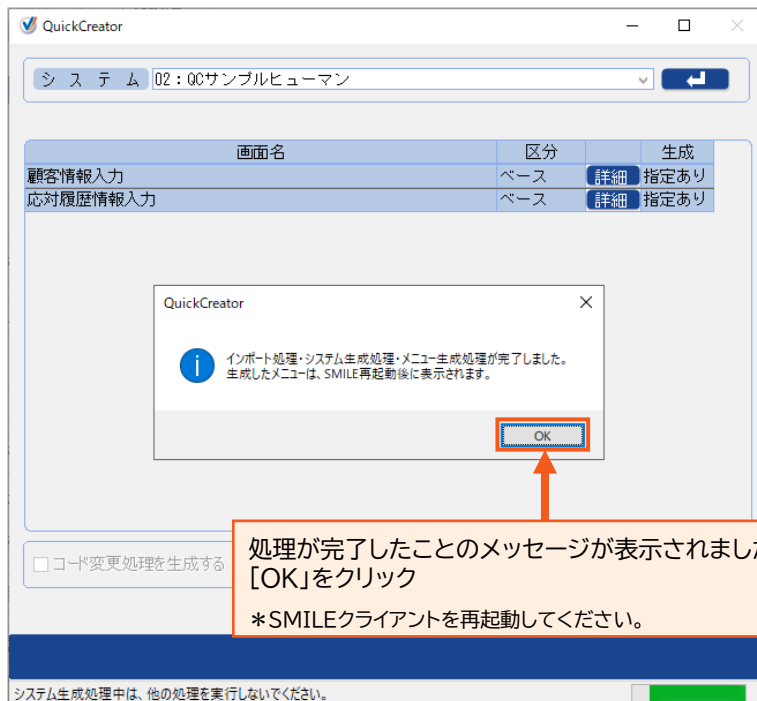
③「実行」をクリック

*①でチェックした場合は、インポートの実行後に、システム生成と標準メニューの生成を自動で行います。
*①でチェックしていない場合は、インポート実行後にシステム生成と標準メニュー生成を行ってください。
*なお、Webポータル用のメニューは自動生成しません。

STEP 4

取り込み実行:[インポート]実行中

* Step3で指定したサンプルアプリの取り込みが実行されます。



処理が完了したことのメッセージが表示されましたら
[OK]をクリック

* SMILEクライアントを再起動してください。

STEP 5

サンプルアプリのメニューのイメージ:標準メニューの場合

* SMILEクライアントを再起動してから、メニューを確認してください。



サンプルアプリ[ヒューマン]のメニュー

* クリックすると、[ヒューマン]のさまざまな処理を実行する
メニューが表示されます。

STEP 6

(参考)Webポータル用メニュー生成

* Webポータル用メニューを生成する場合は以下の作業を実施してください。

① [システム]－[メニュー生成]を選択
* [メニュー生成]画面が表示されます。

② [メニュー分類]は「Webポータル用」を選択

③ [自動レイアウトする]あるいは[レイアウト編集]から、サンプルアプリを実行するメニューのレイアウト作業を実施

④ メニュー生成を確定するため[実行]をクリック

サンプルアプリ[ヒューマンWeb]のメニュー
* クリックすると、[ヒューマンWeb]のさまざまな処理を実行するメニューが表示されます。